

しょう ちゅうがくせい みな
小・中学生の皆さんへ

～メッセージその3～

しんがた
新型コロナウイルスで、たいへん がっき
大変な1学期でした。みな がんば
皆さんの頑張りに、こころ
心から
かんしゃ
感謝しています。

がっき むか
2学期を迎えるにあたり、みな ねが
皆さんにお願いがあります。

それは、「コロナウイルスにかんせん
感染した人を責めないでほしい」ということです。

うつりたくてうつる人は、いません。いま だれ かんせん
今や、誰でも感染する可能性があります。かのうせい
可能性があり
ます。ウイルスをさ だれ
避けて誰とも会わないことはふかのう
不可能ですし、ウイルスはめ
目に
み
見えないので、かんぺき よぼうさく
完璧に予防策をとれる人などいないからです。

まん いち びょうき
万が一うつって病気になってしまったときは、い し なお
医師たちが治すためにぜんりよく
全力
をあげてくれます。ほか びょうき ばあい
他の病気の場合と同じです。

わたし みな ふかんぜん
私たちは皆、不完全で、ふだん く なか
普段の暮らしの中でもさまざま しっぱい
失敗をすることがあ
ります。そのふかんぜん ものどうし たが ささ あ
その不完全な者同士が互いに支え合って、わたし しゃかい
私たちの社会ができてい
ます。

ざんねん ふうん かんせん
残念ながら、不運にも感染してしまった人たちとその身近な人たちが、まわ
周り
からまるでわるもの
悪者であるかのようなあつか
扱いを受けている、というじれい
事例がかくち
各地で

ほうこく
報告されています。

11年前、私たちの身近でも同様のことがありました。

当時は「新型インフルエンザ」が国内で流行し、特に兵庫県ではたくさんの方の感染が確認されました。今回と同じように、皆がとても心配していました。

そんな中、市内の学校が修学旅行に行ったところ、「修学旅行に来るな。ディズニーランドで感染者が出たらあなたたちのせいだと疑う」というメールが豊岡市役所に届きました。別の学校では、旅行先で、「兵庫県から菌をばらまきにきたのか。」と言われたりしました。皆が、とても悲しく、くやし
い思いをしました。

この先、コロナウイルスに感染する人が皆さんの身近な人の中から出るかもしれません。感染した人たちは、きっと不安な気持ちでいっぱいだと思います。不安の中にいる人たちに対し、私たちがすべきことは、なぐさめ、励まし、一日も早い回復を願うことだと思います。

ウイルスの「こわさ」は、感染して症状が重くなることだけではありません。偏見や誹謗・中傷など、人の気持ちを傷つけたり、傷つけられたり
するといった精神的な「こわさ」もあります。

また、感染^{かんせん}した人^{ひと}たちを責^せめることで、もう1つ困^{こま}ったことがあります。

それは、責^せめられることを恐^{おそ}れて、発熱^{はつねつ}など感染^{かんせん}の疑^{うたが}いがあってもそれを隠^{かく}してしまい、かえって感染^{かんせん}が広^{ひろ}がる可能^{かのうせい}性^{せい}があるということです。

コロナ騒動^{そうどう}もやがていつか終^おわります。その時^{とき}、「互^{たが}いに力^{ちから}を合^あわせ、励^{はげ}ましあって、ここまですく乗^のり切^きってきたなあ」とみんなで肩^{かた}をたたき合^あうよ
うな仲間^{なかま}であってほしいと強^{つよ}く願^{ねが}っています。

メッセージをよ^よんで感^{かん}じたり考^{かんが}えたりしたことについて、ぜひお家^{うち}の人と
も話^{はな}し合^あってみてください。

2020年 8月31日

とよ お か し ち ょ う
豊岡市長

な が い む ね は る
中貝 宗治

とよ お か し き ょ う い く ち ょ う
豊岡市教育長

し ま こ う じ
嶋 公 治